

Nikkei Shimbun

ニッケイ新聞

ANO XXIV - Nº 5646

SÃO PAULO, QUINTA-FEIRA, 7 DE JANEIRO DE 2021

ブラジルとの関係強化に向けて

訪問記念特別寄稿



日本国外務大臣
茂木敏充

この度、外務大臣としてブラジルを訪問することができて大変喜ばしく思っています。外務大臣としては初の訪問ですが、私個人としては4回目の訪問であり、ブラジルに対して非常に親しみを感じています。新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大していますが、伝統的友好国であるブラジルとの関係を強化したいとの強い思いで、今回の訪問を決めました。

中南米を含む国際社会における、ハワリバランスの变化が加速化・複雑化している中、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化は益々重要となっており、そのために国際的な連携が必要となつていきます。多くの中南米諸国は、法の支配、自由民主主義、人権等の基本的価値を我が国と共有しています。

なかでも、地域を代表する大国であるブラジルは、基本的価値と日系人の方々が紡いできた伝統的な絆を共有しており、こうした国際的な連携を進める上での「戦略的グローバルパートナー」であり、その関係強化の重要性は近年大きく増大しています。また、日本は、法の支配に基づき自由で開かれた国際秩序の強化に向けた戦略的な連携を、米中等と重層的に進めていきますが、新しい外交を進めるブラジルともこうした重層的な連携を進めるべく、日米伯三か国の協議を立ち上げたところで、日本政

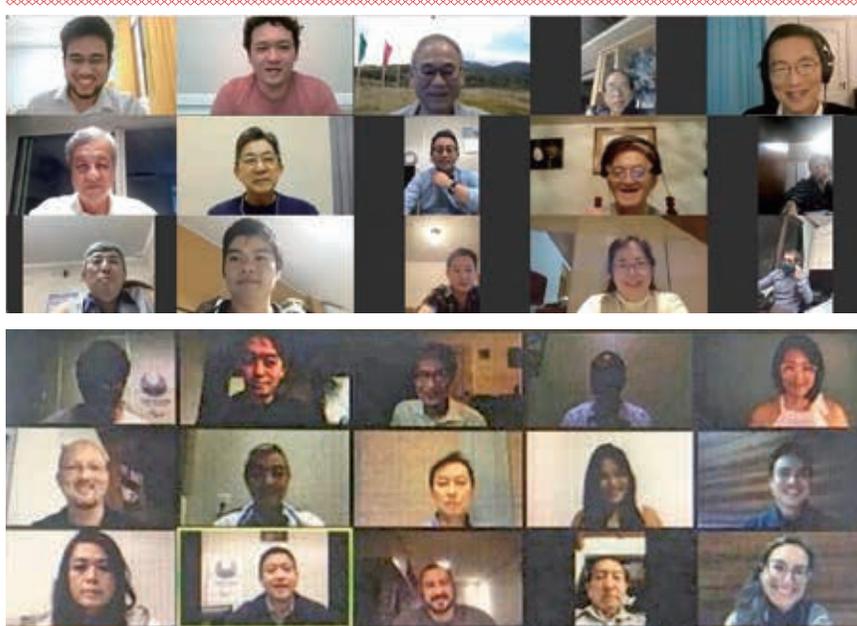
府は、ブラジルの感染症対策及び保健・医療体制の強化に資する機材供与を実施しています。PAHO（汎米保健機構）を通じて、ブラジルを含む中南米各国への支援も行っています。日系人の皆様や企業の皆様におかれては、ブラジル各地で市民の方々が困難に直面する中、自身も困難に直面しているにもかかわらず、医療機材や食料の寄贈などを通じて、地元社会に貢献されたことと承知しております。



アマゾン森林消防活動に資する救済物資支援署名式



ゴイアニアオンライン盆踊り祭り



2020年10月、日系下院議員とのウェビナー



リオの餅つき大会

2016年のリオデジャネイロオリンピック・パラリンピックの成功とブラジルの躍進は記憶に新しいところです。現在、日本は、人類がウイルスに打ち勝った証、また、東日本大震災からの復興を発信する「復興オリンピック・パラリンピック」として、東京大会の開催実現のため準備に取り組んでおります。スポーツ大国でもあるブラジルからも多くの選手が参加することになるでしょう。そうしたスポーツを通じた人的交流によつて、両国民が、地理的な距離を感じない程互いに身近に感じられる存在になることを祈念しています。6世代、200万人以上、日本国政府として、引き続きブラジル関係を支える信頼の礎であるブラジル日系社会と、さらに連携・協力していきたいと思つています。日本国政府 茂木敏充